作成 20191201 改訂 210530 210602 240715

1 競漕艇(ボート, 艇)

競技上の競漕艇は、以下のように「定義」される.

(JARA・競漕規則 2024.4、定義等一覧表)「ローイング」)」「オールを梃子の原理(第2種:カ点-作用点-支点の並び)で使い、艇の進行方向に背を向けて座り、一人もしくはより多くの漕手の筋力で、水上に浮かぶ艇を推進させるスポーツ. 艇の舵を操作する舵手(「コックス」ともいう。)が乗艇する場合と乗艇しない場合がある. 艇の中では、可動部分の軸を含む全ての耐荷部位は、艇本体にしっかり固定されていなければならない. ただし、シートは艇の軸に沿って動くものとする. ローイング競技の動作を再現する、器械の上またはローイング・タンクにおける競技もまた、ローイング競技の一形態と考えられる。」

規定とサイズ 艇には最小重量の規定があり、エイト96kg~シングルスカル14kg「以上」である. 長さは比較的自由で、エイト約17m、フォア約13m、シングルスカル約8mだあ、11.9mを超える場合は分割構造が必須となる. シングルスカルは、最短長さが7.20m以上の規定がかかわる. 他に、艇の構造について、安全上の規定(例:バウボール、クイックリリース(かかとの拘束など)、浸水時の予備浮力、オールの前端の厚みなど)もある.



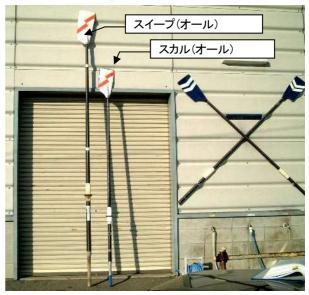
水中翼などの奇抜なアイデアも禁止される。 革新的な装置を国際大会や, 競漕規則が適用される大会に導入する場合は, 事前公開と, 1年以上の市販が必要となる.

2 オール

オールは、艇によって、スイープとスカルの2種類がある.

種類	1人の漕手が	長さ	重量
スイープ	片側1本を漕ぐ	約3.8m	2. 5kg
スカル	両側計2本を漕ぐ	約2. 9m	1. 3kg×2

スイープとスカルは、そのオールを使う「艇」の種類としても使われる(→スイープ艇、スカル艇など). また「オール」を、狭義のスイープだけの意味に使うこともある.



スイプオール(左)は長く、スカルオール(右)は短い.

3 艇の種類 (競漕種目)

競漕艇には、9種類のシェル艇と、ナックルフォアがある。 ナックルフォアは、日本の独特の艇種である。 つきフォアと同じ 舵手付きの4人漕ぎスイープ艇だが、横断面形状が指関節を曲

げたように平面的である。 主要な全日本大会では廃止されたが、 マスターズや市民レガッタで、なお採用されている.

競漕艇の主な艇種	48 8.48	がす エ リナイのリー てのわしての飲ま状状(な)
觉得做(/) 干发粉棒	車量・最小車量	艇速・エイトを100としてのおよその艇速指数(私質)

種目	略号	舵手	漕手	タイプ	全長	重量	艇速	解説
エイト	8+	0	8	スイープ	約17m	96kg	100.	漕艇の中では最も速い.
クォドルプル(舵手なし)	4×	_	4	スカル	約12m	52kg	96. 2	エイトについで速い.
舵手つきクォドルプル	4×+	0	4	スカル	約13m	53kg	91. 9	日本でジュニア,女子種目など
フォア(舵手なしフォア)	4-	_	4	スイープ	約12m	50kg	94. 0	国際的に主流.
舵手つきフォア	4+	0	4	スイープ	約13m	51kg	89. 6	日本では最も普及.
ダブルスカル	2×	_	2	スカル	約10m	27kg	88. 5	2人漕ぎでは一番速い.
ペア(舵手なしペア)	2-	_	2	スイープ	約10m	27kg	85. 2	最も繊細なバランス技術が必要.
舵手つきペア	2+	0	2	スイープ	約11m	32kg	79. 2	1×より遅い.
シングルスカル	1×	_	1	スカル	約8m	14kg	80. 7	唯一の個人種目.
↓マスターズ, 市民レガッタなどで使われている艇								
ナックルフォア	KF	0	4	スイープ	約11m	105kg	<u>79</u>	船底にキールがあり、V字型

※艇速指数は随時見直し. 20210602 改訂 0.1で表示するが、精度は±0.5~1程度 名称補足: 舵手なし艇については、公式名称では「舵手なし」、「なし」をつけないこととなった.